

は る ら ん ま ん

春爛漫

5月5日(日・祝)は守山の祭り

守山春の3大まつり、国選択無形民俗文化財「近江のケンケト祭り・長刀振り」に指定される「すし切りまつり」「長刀まつり」と、市無形民俗文化財に指定されている「豊年踊り」の由来と見どころを紹介します。

園文化財保護課

☎(582)1156 ㊟(582)9441

すし切りまつり

幸津川町 下新川神社

由来 すし切り神事は約2000年前、崇神天皇の皇子、豊城入彦命が幸津川を訪れたときに、琵琶湖でとれたフナの塩漬を焼いて献上したのが始まりとされています。

特徴 かみしも姿の若者2人が長いはしと包丁を使って子持ちのフナ寿司10匹をサイコロのように切り分け神前に供えます。定められた古式の作法にのっとり大きな動作でゆっくり切るのが特徴で、非常に難しく、度胸が必要です。

今年の見どころ 正午ごろからすし切り神事。神輿巡行、かんこの舞、長刀振りなどが行われます。すし切りの大役は、樋上大耀さんと谷隆人さんが務めます。



長刀まつり

杉江町 小津神社

由来 約1400年前、欽明天皇のころ、琵琶湖の氾濫により湖中へ流失した神靈を再び迎えた際、氏子らが踊りを奉納したのが始まりと伝わっています。

特徴 かねや太鼓の音頭とともに「ヤーアイ」の掛け声で長刀を左右に振り回しながらの長刀振りや太鼓、太鼓などの囃子に合わせて踊る田楽踊りを行います。担当する踊り番によっては長刀を振らない年もあり、今年当番の金森町は長刀振りの奉納はせず、子ども神輿や稚児行列を行います。

今年の見どころ 子ども神輿が金森町を出発し正午ごろ、赤野井町で稚児行列と合流し赤野井町の釈迦堂へ諏訪家屋敷へ東別院へ若宮神社へ小津神社で参拜。



豊年踊り

吉身四丁目 馬路石邊神社

由来 昭和30年代まで毎年5月13日に奉納されていましたが一時期衰微しました。昭和51年に保存会が結成され復活しました。

特徴 踊りは「ケンケトまつり」の範疇に属するもので、歌詞や踊りから、元は、中世の田楽の系統と考えられています。太鼓持ちと太鼓打ちが中央で踊り、周りで音頭取りや稚児が輪をつくって、音頭取りの歌詞に合わせて舞いが奉納されます。歌詞は小津神社の祭り共通ですが節回しがいやや異なります。

今年の見どころ 午前11時に御旅所で踊り奉納・出発。辻々で踊りを披露しながら練り歩き午後5時ごろに神社に到着。餅まきが行われます。

